



令和6年12月27日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

豊川稲荷、砥鹿神社など地域資源を活用した 「とよかわ型マルシェ」を全国に発信します

豊川市では、豊川稲荷や砥鹿神社をはじめとする歴史的資源や、赤塚山公園等の観光資源を活用した若手事業者主催のマルシェが、継続的に“にぎわい”を創出しています。“にぎわい”創出の一助となっているのが、豊川市シティセールスイベント等支援制度です。当該制度は、平成27年4月1日より施行され、イベント等の開催に係る広報・PR等に特化したサポートとして、広報とよかわへの掲載、市公式SNSでの配信、公共施設でのチラシの配布等を行うものです。

豊川市の魅力の一つである「とよかわ型マルシェ」をテーマに、東京都文京区にある会場で、東京圏で同じく寺社を活用したマルシェ主催者をファシリテーターに迎え、トークセッション等を行うことで、その魅力を浮き彫りにし、全国に発信します。

1 イベント名

愛知県豊川市の事例から学ぶ 地域資源を活用した賑わいづくり

2 日時

令和7年1月16日（木）午後7時～午後9時

3 会場

がらくた こうぼう
我楽田 工房

（東京都文京区関口1丁目29-6、1F）

4 内容

- (1) トークセッション「地域資源を活かした賑わいづくりとは？」
- (2) トークセッション&試食「豊川の生産者 × 東京のお芋クリエイター」

5 登壇者

別紙の登壇者一覧をご確認ください。

6 定員

- (1) 会場参加：20名
- (2) オンライン参加：定員なし



7 参加費
無料

8 応募方法
URL、または二次元コードよりご応募ください。
<https://peatix.com/event/4241697/>



9 その他
今後は、本イベントに参加した方等を対象に、実際に豊川市で行われているイベント等を視察する機会を作るなど、関係人口創出に繋がります。

【お問合せ先】

豊川市役所 企画部 元気なとよかわ発信課 杉本・杉浦

TEL：0533-95-0260 Eメール：genki@city.toyokawa.lg.jp

愛知県豊川市の事例から学ぶ 地域資源を活用した賑わいづくり

1 トークセッション「地域資源を活かした賑わいづくりとは？」

【登壇者】

- (1) 豊川稲荷「縁en」(豊川市) / スペシャルティコーヒー蒼 代表 倉橋 誠さん



豊川市生まれ、豊川市在住。
自家焙煎コーヒーの提供をするほか、東三河での出張販売や地域イベントに積極的に参加。
豊川稲荷で開催する「縁en」の発起人としても知られ、イベント開催から今年で10年目を迎える。若手育成にも取り組み、地元とのつながりを深める活動が続けている。

- (2) 砥鹿神社「とが楽市」(豊川市) / このまち食堂 代表 丸山 英昭さん



豊川市生まれ、豊川市在住。
市民参加型マルシェ実行委員会の代表を務める。
地域名物を扱うキッチンカーを運営し、市内外のイベントで活動。
砥鹿神社で開催される「とが楽市」の企画・運営を行い、今年で8年目を迎える。ファミリー世代を巻き込んだ人気イベントに成長。

【ファシリテーター】

でんつういん
傳通院「文京思い出横丁」(東京都) /

弁護士、NPO 法人文京 BASE 代表 北 永久さん



新潟県佐渡市生まれ。東京都文京区在住。
開催3年目となる傳通院「文京思い出横丁」の発起人。若者と地域をつなげることを目的として始まる。現在では全国8市町村が参加するなど、地元住民だけでなく、地域内外の人たちが集うイベントに成長。

2 トークセッション&試食「豊川の生産者 × 東京のお芋クリエイター」

【登壇者】

(1) 豊川の生産者 / 寛 勝巳さん



さつま芋農家、つぼ焼き芋師。
自然栽培（無農薬・無肥料）のさつま芋を生産。
豊川市で行われるマルシェなどを中心に、自家農園で育てた芋を追熟し、つぼで焼き上げた安心安全畑のスイーツを提供している。

(2) お芋クリエイター（東京都） / えなりん



管理栄養士。
レシピ動画プラットフォームでフードプランナーとして企業とのタイアップを多数担当。
現在 Instagram フォロワー5.3 万人の「おいもクリエイター」として活動。